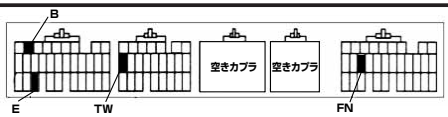
HONDA

車両型式	エンジン型式	端　子　図
CL7	K20A	

ECUユニット位置

A：助手席サイドトリム
B：グローブボックス奥
C：助手席足元下
D：センターコンソール奥
E：トランクの中
F：助手席の後
G：運転席の後
H：エンジンルーム内

《取付方法》

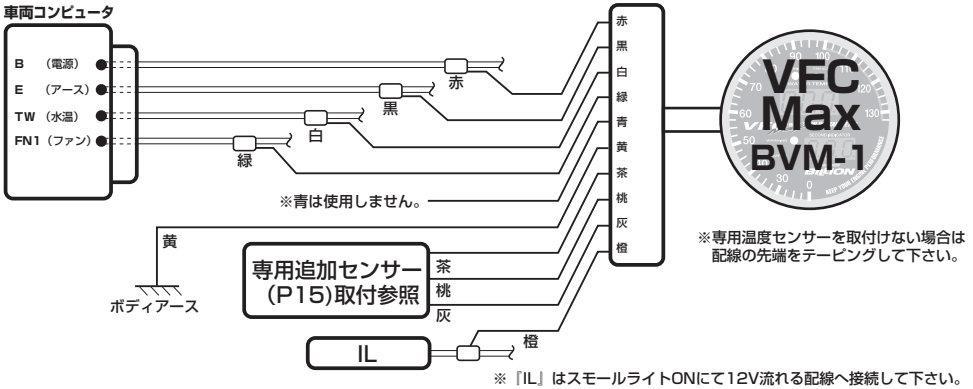
1. エンジンを停止させ、車両ECUが見えるようにカバー・内装類を割れないように慎重に取外して下さい。
2. 別項の「車両ECU端子図」を参考に、下記の通りに配線取付を行って下さい。
3. 下記の車種に関しては、ファン作動速度設定がございませんので、使用しない「青」配線は先端に絶縁処理を行い、運転の妨げとならない場所へ束線バンド等で固定して下さい。
4. 取付が完了したら、「初期設定」を参照の上、操作・設定を行って下さい。
5. 専用追加センサーをご使用の場合は「専用追加センサー取付（P15）」をご参照の上、取付を行って下さい。

※追加センサーを装着しない場合は、サブ表示部に常時バッテリー電圧が表示されます。追加センサー未装着でも本体作動にはなんら支障はございません。

BVM-1

配線取付 2

NISSAN	K11 S14 S15 RPS13(H6/1～) RNN14 JN15(標準仕様) HP10 HP11(SR20DE) BNR34 R34 Z32(NA) WGNC34(後期H10/8～)
TOYOTA	ST215W SXE10 ZZW30
HONDA	EG2, 6, 9 EK4, 9 DA6, 8(H3/10～H5/4) DC2 DB8 DC5 CD4～8 BB1,4 RH1,2（前期） AP1 CB5 CC2/3 CF4～7 CH9 UA1/2
MITSUBISHI	CA4A CB4A CC4A CJ4A CK4A Z16A(Ⅱ型) DE3A(MIVEC)
MAZDA	NA6CE NA8C NB6C NB8C



【配線解説】

① 車両端子図のBの位置にスプライスを使用してVFC本体の赤線を接続します。
② 車両端子図のEの位置にスプライスを使用してVFC本体の黒線を接続します。
③ 車両端子図のTWの位置にスプライスを使用してVFC本体の白線を接続します。
④ 車両端子図のFN1の位置にスプライスを使用してVFC本体の緑線を接続します。
⑤ 配線「青」は使用しません。
⑥ VFC本体の黄線を確実にボディーアースして下さい。
⑦ VFC本体の橙線をオーディオ等のスモールライトONにて12V流れる配線へ接続します。
⑧ 追加センサー接続の場合は、「追加センサー取付」の項に従って取付を行います。
⑨ 以上で配線完了です。

※誤配線は車両に重大なトラブルを招く恐れがございます。
取付に際しては細心の注意をもって臨んで下さい。

【本体とハーネスの接続及び、固定】

● 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体後方にカプラーを差し込んで下さい。
● 本体、配線は運転動作の妨げとならない様に両面テープ、タイラップ等にて固定して下さい。
※車内は異常に高温となる可能性があります。直射日光の当たる箇所に配置すると、本体の変色、および本体の破損の原因となります。
● 固定が完了したら、エンジンをかけて、本体の作動チェックを行って下さい。
● 正常に接続されている場合は、スタートデモンストレーションのあと、水温が表示されます。

「初期設定」の項に従って設定を行って下さい。
● 取付後、作動しない場合は、「トラブルシューティング」の項をご参照下さい。